

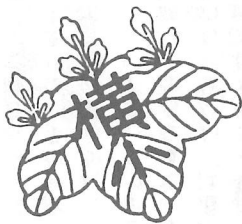
ひろば

珍しい話題など
お寄せください。



広々とした畑で つくるよろこびを

横芝小学校(小川芳郎校長)では、平成2年度から2年間文部省の「勤労生産学習研究校」の指定をうけました。これは、子供たちに勤労の貴さや生産のよろこびを味わわせ、情操豊かな人間に育ていこうというものです。この話を聞きつけた本町の関晃治さんが、「子どもたちの研究活動に役立ててほしい」と学校直近の畑地20アール余りを解放してくれました。



土の香りに歓声!

関 晃治さん(本町)が農園を解放



「いも苗は横植えにしてよく押さえてね」と関さん

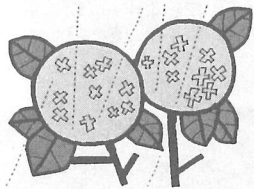
学校では早速、学年別に区割りをして、関さん直々の指導のもと、ジャガイモや豆類トウモロコシなどを植え付けました。子どもたちは、自分たちの植えた作物の成長が楽しみで、週一度(金曜)の実習が待ちきれないほどです。なお、同校の実習地としては、かねてより大木和雄さん、伊藤英夫さん(いずれも東町)からも農地の借用をうけています。

文芸

俳句

羅^ろや在りし日の母惚^{おぼ}ぼるる 宮内 澄男
単衣着て女盛りを晒しけり 鈴木 草庵
単衣着に馴れず手の行くうなじ 鈴木 南知
単衣着て朝茶のみどり疑はず 戸村 静華
戸を練れば雑念さらり蛙の夜 行方はじめ
杉葉^か長け山里は過疎進むのみ 成田栄三郎
小さき靴揃へて脱がれ子どもの日 藤代 ゆう
郵便のバイクの迷がれし羽抜鳥 山口 一秋
空港に谷津田の跡あり水草生い 若梅あやめ
換羽^か期の鶉^と舎^なまなめるき風が吹き (選者) 土屋 栗水

短歌



冬眠よりけさめざめしか銭龜のとがりし鼻の水面より出す 八角 三枝
逆上りできたできた喜べる吾子の手と足さすりてやりぬ 中越美代子
傍らをそよ風残して走りゆく乙女は長き黒髪揺らし 永藤 滋
池の面に松の花粉の浮かびるて風吹くまに文様変る 土屋 五六
拒み泣く孫をすばやく保母は抱き保育所のバス発車しゆけり 鈴木 やす
戦死せる夫に弔辞を賜ひたるひと弔ふと今日は来にけり 秋葉 とく
早くより人の出入りに賑はひて育苗センターの苗の出荷日 池田 春江
旅先に忘れし手帳もどり来て靴の中の空は満たさる 西山満里子
木群^こいま一様に芽だつ季となり 全山うごく音のこもらふ 吉岡 信子
秀^ひつ枝より秀^ひつ枝に飛べる栗鼠の尾の光ると見しも一瞬にして (選者) 斎藤つね子